

郷土を知り、郷土を愛する

志木市 歴史まんぼ

— 執筆・協力 志木のまち案内人の会 —

第56回 田子山富士塚シリーズ②

「親子の唐獅子や親子の猿がいるのはなぜ？」

古事記や日本書紀に「天孫降臨」のお話があります。天照大神の孫である瓊瓊杵尊が高千穂の峰に降りてくるお話です。降りてきた瓊瓊杵尊はきれいなお姫様(木花開耶姫)を見つけてすぐにプロポーズします。姫は「私はお答えできません。父(大山祇大神)に聞いてください。」と答えます。父は「この子の姉(磐長姫)と二人いっしょに結婚してください」と答えました。



▲木花開耶姫と三つ子

磐長姫は岩のように丈夫で長生きする人でしたが、お岩さんのような容姿をしていたので、瓊瓊杵尊は磐長姫とは結婚しないと断って帰してしまいました。

瓊瓊杵尊と結婚した木花開耶姫は、たちまち赤ちゃんを宿しましたが、瓊瓊杵尊は、宿した子は自分の子ではないのではないかと疑います。疑われた木花開耶姫は身の潔白を示すため「宿した赤ちゃんは神様の子なのだから、どんな悪条件の中でも無事に生まれてくるはず」と信じ、産屋に火をつけて、火の中で無事に三つ子の赤ちゃんを出産したそうです。このことから木花開耶姫は「安産子育ての神様」や「火除けの神様」といわれるようになりました。

このお話にちなんで、田子山富士塚の入口階段の左右にある「唐獅子」や登山口の木戸の横の「猿」が親子連れになっているのだと考えられています。

猿は「富士山の神様のお使い」といわれ、木花開耶姫命は田子山富士浅間神社に祀られている神様です。背景となる神話を思い出しながら、現地をご覧ください、お楽しみください。



▲親子の唐獅子



▲親子の猿



推しスポーツでストレス解消!

いろは親水公園に色とりどりの鯉のぼりが元気に泳ぐ、志木市の初夏がやってきました。新年度がはじまってから早くも1か月が経ち、新しい生活環境にも慣れてきたころでしょうか。新緑あふれ元気あふれる5月ですが、一方で「五月病」といわれるように、環境変化へのストレスから気がふさぎ込み、倦怠感や食欲不振といった症状が現れやすい時期でもあります。予防には、適度な運動によるストレスの発散が効果的だといわれていますので、意識的に体を動かすことが大切です。

志木市では、「いつでも・どこでも・だれでもスポーツを楽しめる夢のあるまち」を目指して策定したスポーツ推進計画に基づき、さまざまなスポーツ活動を推進しています。3月23日(日)に開催されたノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会は、日本全国からはもちろん、今年は国境を越えて台湾から16名の参加者が駆けつけ、大盛況のイベントとなりました。また、昨年度は応募が殺到したため、急遽参加者の枠を増やし

て実施するほど大人気だった「キッズチャレンジスポーツ」。今年度は、前回の教室で実施したアンケートで要望が多かった「バスケットボール」に挑戦してもらいます。6月1日(日)の実施予定で、現在参加者を募集しておりますので、ぜひご応募ください。さらに、町内会や町内会同士で実施するスポーツイベントを対象とした「地域スポーツレクリエーション補助金」については、スポーツを通じて、地域コミュニティの醸成を図ることも目的としていますので、こちらもご活用ください。

本格的なスポーツは厳しいと感じる方は「志木いろはウォーキングコース」を歩いてみるのはいかがでしょうか。市内各所に設置している「いこいのベンチ」で休憩を挟みつつ志木市の風景を楽しみながらウォーキングが楽しめます。さらには、5月10日(土)に開催を予定している「親子の市内まるごとクリーン作戦」も、川辺をきれいにしながら土手を気持ちよく歩くことで、ちょっとした運動になります。

令和4年に実施したアンケート調査では、スポーツを週1回以上行う20歳以上の市民は45.8%でした。「スポーツ」と聞くと、記録や勝敗を競い合う「競技スポーツ」を連想しがちですが、ウォーキングや体操も立派なスポーツ。狭隘な志木市は地域資源が限られる現実がありますが、市民の皆さんに心も体も元気いっぱい過ごしていただくためにも、これからも運動ができるさまざまな機会を、工夫を凝らしながら提供していきます。心地よい志木の風を感じながら、ぜひ、あなたの推しのスポーツを見つけてみてください。